法	人(事	業 者	f)名	一般社団法人 水口病院								
介 護 事 業 所 名					介護老人保健施設スキナヴィラ甲賀								
介	護保険	事	業別	番号	25514800)45	サービ	ス種別	介護老.	人保健	施設		
所		在		地	滋賀県甲賀市		新町1−1	-13					
利	用		定	員	100人	介護口	ボットの	の種別	見守り				
介	護ロボ	ット	の製	以品名	パラマウント 眠	りスSCA	N NN-1	520					
見	守り	機	器	の導	入に伴う	通信耳	環 境 整	産備 の	有 無		有) 無	
導	入		時	期	令和4年	3月	導入台	う(セッ	ト)数		20)セット	
IJ	- ス・	レ	ンゟ	ルの	場合の契糸	的期間		年	月から	令和	年	月まで	

【1.介護ロボットの使用状況】

- ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。
- ・10ユニットあるため、1ユニット2台づつ計20台を配置した。夜間に中途覚醒のある方や不眠、夜間徘徊等ある利用者に対して睡眠、覚醒、離床の行動情報を収集している最中です。収集したデータや利用者の行動パターンを評価・分析し、職員の業務負担の軽減に繋がるよう利用しています。
- ・認知症による周辺症状や精神症状悪化により見守りが必要な方に利用してもらい、離床の確認や見守りに活用しています。

【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】

- ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。
- ・眠りSCANを導入してから日が浅いため、導入効果についてはしっかりと検証まで出来ていない。
- ・夜間に中途覚醒が多い方には、日中のリハビリや日光浴等の外気に触れる機会を増やすことで夜間に 安眠出来るように促すことができた。それにより夜間の職員の業務負担の軽減に繋がった。
- ・眠りSCANを利用している利用者さんの夜間の睡眠状態を一括で把握できるので、見守りや離床による 転倒防止等の事故予防に繋がるような使用を検討している。

【3. 一定の要件を満たす事業所における導入の効果】 補助率3/4適用事業所記載必須

<u>※補助率4分の3の適用を受た場合は、上記2に加え、下記①②を記載し、①と②が異なる場合は③も記載すること。</u>

介護ロボット等の導入 ·介護職員····52名(<u>夜勤可能者30名</u>) ·看護職員····12名(<u>夜勤可能者6名</u>) 後に見込んだ介護職員 リハビリ職員・・6名 計画 |等の人員体制(事業計| 見守りセンサーを導入し、夜勤可能希望者者を増やし、職員一人辺りの業務負担軽 画書に記載した内容) 減を行う ·介護職員····49.3名(<u>夜勤可能者30名</u>) 介護ロボット等の導入 ·看護職員····15.2名(<u>夜勤可能者7名</u>) **(2**) 後の介護職員等の人 リハビリ職員・・6名 実績 員体制 ③ ②導入後の介護職員等の

③ <u>②導入後の介護職員等の</u> 人員体制が、①導入計画時に 立てた見込みと異なる場合はそ の理由

職員の負担軽減ため、機器の導入を行ったが、導入してから利用した期間が短いが、計画通り夜勤可能者はほぼ確保できた。

- ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。
- ・機器に不慣れな職員が多いため、使い方の説明に時間を要する。
- ・眠りスキャンは僅かな振動をキャッチするが、通信の問題かパソコンやIpadに連動するのにタイムラグが生じる。離床を確認し見に行くとすでに居られない事もあった。通信設備業者に依頼し、Wifiのチャンネルの再設定を行い通信状況の確認をする予定である。
- ・導入に際し、Ipadが世界情勢により予定台数が確保出来ていない。少ない台数での運用であるため、 予定台数が揃えば今後本格的な運用を行い、機器の検証等を行う予定である。
- ※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。
- ※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

	C.	川 迂口小ツ	「待八ノ	く1友/ 手	未其冊の) <u>जर</u> 4	テ八次:	木刊口		
法人(事業者)	名 社会福	祉法人。	よつば会						
介護	事業所	名 特別養	護老人	トームや	までら					
介護保	険事業所番	号 25	5906001	24	サービス		地域密:		 護老人	福祉施設入
所	在	地 滋賀県	草津市に	山寺町1	118	•				
利	用 定	員	29人	介護口	1ボットの	種別	見守り			
介護口	ボットの製品	名 ANSIEL	-							
見守	り機器の	導入に	伴う	通信 玛	環境整	備の	有 無		有	· (無)
導 ,	入 時	期F	84年 2月	₹	導入台	(セッ	ト)数			3
リース	・レンタル	の場合	の契約	期間		年	月から	令和	年	月まで
※見守り 夜間に ターンに その他、	【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 夜間に転倒リスクのある方に使用しており、覚醒後から離床までに職員が駆けつけられ本人様の排泄パターンに合わせてトイレ誘導が行えている。 その他、看取り介護の入居者様への使用もして脈拍などのデータを夜間帯の職員の人数が少ない時間に状態を確認できる様に使用しています									
	護ロボットの導						7 — 1			
)達成状況等な 員が入居者の							様の排泡	世の失	敗が40%減
介護ソ	夜勤職員が入居者の覚醒に合わせてトイレ誘導を行える事により入居者様の排泄の失敗が40%減少。 少。 導入前と比べ覚醒してから部屋に出てくるまでの間に起こっていた転倒が0件となっている。 介護ソフトにも連動可能との事で将来的には台数を増やしデータを蓄積し入居者様の睡眠改善に繋 げていきたい。									
【3. − ′	【3. 一定の要件を満たす事業所における導入の効果】 補助率3/4適用事業所記載必須									
<u>※補助</u> ≊ と。	※補助率4分の3の適用を受た場合は、上記2に加え、下記①②を記載し、①と②が異なる場合は③も記載すること									
① 計画	介護ロボット 後に見込んだ 等の人員体 画書に記載	ご介護職員 制(事業計								
② 実績	介護ロボット 後の介護職 員体制									
人員体	導入後の介護 制が、①導入 見込みと異なる	、計画時に								

※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。

夜勤を行う介護職員の負担が減ったが、使用を続けていると接続が甘くなり反応が悪くなる時があり、対応策としてテープ止めを行い固定をして抜けが起こらないようにしている。

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(介	護ロボット導入支援)事	業費補助金 基		}告書					
法 人(事 業 者)名	社会福祉法人グロー								
介護事業所名	きぬがさ特定施設入居者生活介護事業所								
介護保険事業所番号	2570501151	サービス種 別	サービス種別 特定施設入居者生活介護						
所 在 地	滋賀県東近江市五個	荘川並町322							
利 用 定 員	130人 介護口	ボットの 種 別	見守り						
介護ロボットの製品名 眠りSCAN									
見守り機器の導	算入に伴う通信 環	環境整備の	有 無	有・無					
導 入 時 期	令和 4年 3月	導入台(セッ	ト)数	5台					
リース・レンタルの)場合の契約期間	年	月から令和	ロ 年 月まで					
【1.介護ロボットの使用状況】									
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。									
事前に利用想定を検討した結果、対象者像は次のとおりとなった。 ①看取り ②転落防止 ③体調管理(睡眠リズムの把握等) ④新規入所者の生活リズム把握									

①看取り、②転落防止、③体調管理(睡眠リズムの把握等)、④新規入所者の生活リズム把握 導入された当初は、1名の方が①看取り、2名の方が②転落防止、1名の方が③体調管理と4名の方で利用開始し、程なく1名の方が新規入所され④生活リズム把握に利用することとなった。

利用者ごとにアラーム音を決めておき、モニター用パソコンの画面を見なくても誰に変化があったかを、音で把握できるように設定した。

【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】

- ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。
- ①看取りの方については、心拍数が極端に弱まったことがアラームで知らされ、看護師が様子を見に行ったところ、すぐに息を引き取られた。
- ②転落防止の方については、アラーム音が聞こえたため居室に向かったところ、床に落としてしまった塗り絵を拾おうとしてベッドから身を乗り出そうとしていたところに遭遇し、転落を未然に防ぐことができた。
- ③体調把握の方については、睡眠リズムを確認し、深夜帯に覚醒しておられることが判明し、日中活動の充実を図る等の取り組みにつながった。
- ④新規入所の方については、残念ながら機器そのものに興味を持たれ、すぐに線を外すなどの行為が見られ使用を断念した。

【3. 一 <u>"</u>	定の要件を満たす事業所	における導入の効果】 補助率3/4適用事業所記載必須
<u>※補助</u> と。	率4分の3の適用を受た場合	ま、上記2に加え、下記①②を記載し、①と②が異なる場合は③も記載するこ
① 計画	介護ロボット等の導入 後に見込んだ介護職員 等の人員体制(事業計 画書に記載した内容)	_
② 実績	介護ロボット等の導入 後の介護職員等の人 員体制	_
人員体	<u> </u>	

※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。

看取りの方の使用の際に、ベッドマットをギャッジアップしたところセンサーがうまく反応しない時があり、業者とも相談し様々な方法を試したが、十分な計測結果を得られたとは言えなかった。

睡眠リズムを把握してもそれを十分に活用できなかった。支援にどのように生かしていくのを専門家も交えて検討したい。

インカム導入により、端末上でも眠りSCANを確認することが可能となったが、iOS上ではアラーム音が聞こえないため、今後改善を望むところである。

Windowsアップデートの際に、モニター用ソフトがストップするといった事例が2回あり、その復旧方法を周知できていなかったため、終日使用できない日があった。

- ※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。
- ※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

	(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書																			
法	人(事	業 :	者)	名	社会福	业法人	、楽	樹											
介	護	事	業	所	名	特別養	護老人	(ホー	ム沿	胡の花	它									
介	擭保	険	事業	所番	号	25	70102	2182		サ-	- ビフ	く種	別	介訂	蒦老	人福祉	业施設	ž		
所		7	Ξ		地	滋賀県	大津市	衣川	二丁	目2	27番	1号	-							
利	J	甲	定	!	員		70,	人介	護口	ーボッ	ソトの) 種	別	見る	ቻり					
介	護口:	ボッ	トの	製品	名	パラマウ	ントベッ	ッド社	製	[ス/	パシア	シリー	ーズ							
見	守	りホ	幾 器	₽ 0	導	入に	伴う	通	信式	睘 埻	き 整	備	の	有	無		7	有	· (無)	
導		入	時	•	期	令	和4年	3月		導.	入台	٠ (1	ヒッ	 	数				20	
リ -	- ス	٠١	ノン	タル	しの	場合	の契	約其	月間				年	月	から	令和	年		月まで	
[1	. 介語	擭口	ボット	·の使	更用:	状況】														
						通信環境														
																			§70名の方のまでである。	
						-スコール 「をリスト〕						はし	い 力・	. (2)	厄阴	1	か出え	* 9	ずにベッドから <i>0</i>)
						き型のセ						押	₽₫							
′	,	~/13			N I	C C	- ,	` ' ' '	\ T	-,-	- 10.15	~/!3	_ ′	0						
[2	. 介語	養口	ボット	·の導	[入	効果∙通	信環均	 竟の繋	備交	加果)										
I-						に、数値						記書	はする	٧-,						
																+-2	ットでじ	† E	目視で確認で	き
_																			この1ヶ月はエス	
						居者でべ										/\/J UJ	J, C/3	` `	20017711012	`
						- L - L - 転落事								O						
[3	<u>. —5</u>	定の	要件	を温	たっ	事業所	におけ	る導え	入の対]果		補	助耳	<u>₹3/</u>	4適	用事詞	集所訂	己載	<u> </u>	
××	甫助፮	を4分	ትወ30	の適用	目を	受た場合	t. Ei	記2に	カロえ、	下訂	<u> </u>	を記	載	, (Î	2)	が異た	る場合	- }(;	は③も記載する	_
٤.			.,,,,,			~~~		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								10 20.0			- (-) O 10 - (-) O 1	_
		介記	養口オ	ボット	等の)導入														
(1					護職員														
計	画					事業計								_						
		画	書に言	己載	した	内容)														
	_	介≣	崔口ナ	ボット	等の)導入														
	2					テの人								_						
美	:績		本制	~1.24																
(Z)	(7) +ī	首ス	後の	企 輔	宇宙	員等の														
						<u>貝守の</u> 画時に														
						合はそ								_						
<u>ー</u> の王		·ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	, _ ,		J 5/1															

※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。

毎回使用前に動作確認が出来ているため気づけているが、電気機械であるがために、コンセントが抜けている事案は発生していた。引き続き、使用前の動作確認を徹底していく。

人間同様、機械もエラーはあると捉えて対応する必要があるとも思うが、そうすると確認などに時間を取られて結局は業務の効率化に結びつかなくなるのでは、と懸念はある。

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

法 人(事	業者)名	社会福祉法人近江和川	真会
介 護 事	業列	斤 名	特別養護老人ホーム美	松苑
介護保険	事業所	番号	2572300016	サービス種 別 介護老人福祉施設
所	在	地	滋賀県湖南市針1325	
利 用	定	員	54人 介護口	1 ボットの 種 別 見守り
介護ロボッ	トの製	品名	眠りスキャン	
見守り	幾 器	の導	҈入に伴う通信∃	環境整備の有無 有・無
導 入	時	期	令和4年3月	導入台(セット)数 20
リース・1	ノンタ	ルの	場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで

【1.介護ロボットの使用状況】

※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。

眠りスキャン20台を導入し運用している。全ての入所者分の導入は行っていないため、現状は試験的に 使いまわしながら使用している。

【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】

※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。

睡眠と覚醒状況を視覚化して確認できるため、その方の夜間のリズムがデータ化できつつある。今までは、定時の排泄交換を行ってきたが、個々の覚醒のタイミングに合わせた排泄介助に近づけることで、生活リズムを整えられるようになってきていると感じている。また、ベッドからの転落等の事故リスクの予防としてもある程度の効果を感じている。

通信環境としては、施設内のWi-Fi環境整備を行った。施設が山間部の立地のため、携帯電話の電波が非常に悪かったが、今回の通信環境整備にて改善された。これは職員の福利厚生としても役立っており、職員の定着に大き〈貢献すると考えている。

【3. 一定の要件を満たす事業所における導入の効果】 補助率3/4適用事業所記載必須

<u>※補助率4分の3の適用を受た場合は、上記2に加え、下記①②を記載し、①と②が異なる場合は③も記載すること。</u>

計画	介護ロボット等の導入 後に見込んだ介護職員 等の人員体制(事業計 画書に記載した内容)	スマートフォンやタブレットの導入については、利用者の状態を視覚化することで得られる安心感や個別ケアの取り組み、インカム導入については、緊急時にチームや多職種との連携がスムース」になることを想定している。また、夜勤職員配置加算や日常生活継続支援加算算定において、人員基準の緩和が図れることから、加算取得のための人員配置ではなく、必要な時間帯に人員を配置することができることに期待している。
② 実績	介護ロボット等の導入 後の介護職員等の人 員体制	導入後、間がないため、評価することは難しいが、この1か月の間で採用者が急に増えたということはない一方、離職者も出ていない。導入後の人員体制を変えるという状況には至っていないが、何となくという感覚的な介護から、エビデンスに基づく介護に向けて、職員の意識の高まりを感じてきている。数値に基づく介護は、職員にとっての安心につながっている。

③ <u>②導入後の介護職員等の</u> 人員体制が、①導入計画時に 立てた見込みと異なる場合はそ の理由

ー朝一夕で機器を理解し、最大限の活用は困難であり、導入1か月で 人員体制に影響を与えるほどの活用には至っていない。今後、より良い 活用を使用しながら考え、介護職の業務軽減や職場環境改善への効 果を期待している。

【4. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】

※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。

睡眠状況を確認することは非常に優れており、健康管理という面では効果があるが、離床センサーとしては、警告までにタイムラグがあるため、不十分であると感じている。

導入直後ということで、眠りスキャンがどういったものなのかを職員が経験するレベルであるが、集約したデータをどのように分析し、活用していくかという点については、データを読み解ける、解析できる職員の存在が重要であると感じている。

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。